



学際生命科学東京コンソーシアム 第4回 市民講演会

# かけがえのない 「いのち」を育む科学

様々な病気の治療に貢献し、心と体の健やかな成長にも役立つ、生命科学の力。脳研究、心や健康の問題、新薬開発など、話題のテーマとの「深い関係」をご紹介します。

神経系の素過程と機能素子



芳賀 達也

学習院大学理学部生命科学科 教授

ストレスと子どもの心



室伏 きみ子

お茶の水女子大学大学院 理学部 教授

ゲノムで解くメタボリック症候群



村松 正明

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 (分子疫学) 教授

漢方の体質診断と健康増進



花輪 壽彦

北里大学東洋医学総合研究所 所長

特別講演

ハルナール(前立腺肥大症治療薬)の創薬物語



竹中 登一

アステラス製薬株式会社 代表取締役会長  
東京大学大学院薬学系研究科 特任教授

■開催日時

**2010.10.23(土)**  
**13:30~17:00**

主催/北里大学 後援/港区

共催/お茶の水女子大学・学習院大学・東京医科歯科大学

〈問い合わせ先〉北里大学・コンソーシアム事務局

東京都港区白金 5-9-1 Tel: 03(3444)6191

<http://gks.tmd.ac.jp>

■講演会場

北里大学薬学部コンベンションホール  
(東京都港区白金キャンパス)

**入場無料** (事前予約等は不要です)

■交通案内 北里大学薬学部白金キャンパス

渋谷駅(JRおよび地下鉄)・恵比寿駅(JRおよび地下鉄)・田町駅(JRおよび地下鉄) ●それぞれ都営バス「田87」系統で「北里研究所前」下車。

広尾駅(地下鉄) ●天現寺橋方面出口(①②番)より徒歩10分。

白金高輪駅(地下鉄) ●恵比寿方面出口(③番)より徒歩10分。





平成21年度文部科学省・戦略的大学連携支援プログラム採択  
学際生命科学東京コンソーシアム 第4回 市民講演会

# かけがえのない「いのち」を育む科学

■開催日時

**2010.10.23(土) 13:30~17:00**

■講演会場

北里大学薬学部コンベンションホール  
(東京都港区白金キャンパス)

## 神経系の素過程と機能素子



芳賀 達也

学習院大学理学部生命科学科 教授

ヒトの脳には1000億個位の神経細胞があり、その基本的な機能を担っているのは、イオンポンプ、イオンチャネル、伝達物質受容体(レセプター)、伝達物質運搬体(トランスポーター)などと呼ばれる、細胞膜を貫通するタンパク質です。これら膜タンパク質は統合失調症や鬱病などの薬の標的でもあり、構造の解明が創薬へ繋がることが期待されます。このような神経系の素過程と機能素子に関する最近の進歩を紹介していきます。

## ストレスと子どもの心



室伏 きみ子

お茶の水女子大学大学院/理学部 教授

幼い頃のストレス体験が、子どもたちの心や体に様々な影響を与え、また極めて大きなストレスである「虐待」を受けた子どもたちは、大きな心の傷を抱えたまま成長してしまうことも報告されています。そうした事象を読み解く視点の一つとして、細胞や動物を用いたモデル実験から分かってきた事柄をご紹介します。そして「適度なストレス」は人や動物の心や体を強く育てることにつながることも、お話ししたいと思います。

## ゲノムで解くメタボリック症候群



村松 正明

東京医科歯科大学  
難治疾患研究所(分子疫学) 教授

メタボリック症候群は動脈硬化症の進展を促進し、脳梗塞や心筋梗塞などの重篤な疾患を引き起こす原因となります。これらの疾患の発症には多くの遺伝子と環境因子(ライフスタイル)が関わっている事が知られるようになってきました。本講演では最近ゲノムワイド関連解析手法から明らかにされたこれらの疾患遺伝子群について概説し、ゲノム情報を予防医療に繋げるための課題について言及します。

## 漢方の体質診断と健康増進



花輪 壽彦

北里大学東洋医学総合研究所長

漢方医学では気・血(けつ)・水(すい)や機能系としての五臓などによって、体質や体調の異常を見て、中庸になるように調節する医学大系を持っています。自分の体質の長所や短所を知って、セルフメディケーションに役立てられるように、漢方の特質や「漢方ドッグ」構想についてお話してみます。

特別講演

## ハルナル(前立腺肥大症治療薬)の創薬物語



竹中 登一

アステラス製薬株式会社 代表取締役会長  
東京大学大学院薬学系研究科 特任教授

医学・薬学の世界では、研究開発により新薬を創製することを「創薬」と呼んでいます。製(創)薬企業には、世界中で病気に苦しむ患者さんに新薬を届け、グローバル販売により日本経済の成長を牽引することが期待されています。私は約20年間の創薬研究経験から、創薬には、「**発**想→**発**見→**発**明」のプロセスが重要であると実感しました。私が創薬したハルナルの研究では、どのようにして3つの「**発**」を集めたかをお話しします。

主催/北里大学 後援/港区 共催/お茶の水女子大学・学習院大学・東京医科歯科大学

〈問い合わせ先〉 北里大学・コンソーシアム事務局 東京都港区白金 5-9-1 Tel: 03(3444)6191 <http://gks.tmd.ac.jp>